

教科	情報技術基礎	単位数	2	学科・学年	電子情報科1年	担当者	太田原 章克			
使用教科書	情報技術基礎(実教出版)		副教材	3級情報技術検定試験標準問題集(全国工高長協会)						
到達目標(具体的な取組【評価規準を念頭に置いた指導上の留意点】)							評価の重点			
コンピュータの原理や仕組みに関する学習をとおし情報技術に関する基礎的な知識・技術を習得しコンピュータ利用の能力を高めることを目標とする。  ・ハードウェアに関する知識を習得し、コンピュータを利用するために必要な基本的な事項を理解させる。 ・流れ図を学ぶことによりアルゴリズムを理解、また作成することができるようにする。 ・ソフトウェアの重要性を認識し簡単なC言語プログラムを理解できるようにする。							関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
学期	月	学習項目 (単元名、教材、学習領域)	主な学習活動・評価のポイント	評価方法						
	4	第1章産業社会と情報技術 第2章コンピュータの基本操作とソフトウェア	コンピュータと人間の関わり合いについて理解を深めるとともに社会におけるコンピュータの位置づけと利用する人間の心構えについて理解を深める。  コンピュータで処理されるソフトウェアの種類を学び各種ソフトウェアの基本的機能を理解する。	観察記録 自己評価 レポート	○	○	○	○		
	5			観察記録 自己評価 レポート	○	○	○	○		
	6			観察記録 自己評価 レポート 中間定期考査	○	○	○	○		
	6	第3章プログラミングの基礎 第5章Cによるプログラミング	C言語を用いて具体的プログラミングの仕方を学ぶ。 フローチャートの制作を通しアルゴリズムとそれらを活用したプログラミングの手法を学ぶ。	観察記録 自己評価 レポート	○	○	○	○		
	7			観察記録 自己評価 レポート	○	○	○	○		
	8			観察記録 自己評価 レポート	○	○	○	○		
	9			観察記録 自己評価 レポート 前期末考査	○	○	○	○		
		9	第6章ハードウェア	コンピュータの内部を知ることによりコンピュータの動作を理解し、プログラミングの一助となるばかりでなくコンピュータそのものを利用できるようにすることを目的とする。 具体的には数の表現としての2進数・16進数8進数と10進数の変換やコンピュータを構成する基本的論理回路加算回路、論理回路の基礎と動作、および周辺装置について理解を深めさせる。	観察記録 自己評価 レポート	○	○	○	○	
		10			観察記録 自己評価 レポート	○	○	○	○	
		11			観察記録 自己評価 レポート 後期中間考査	○	○	○	○	
11		第7章コンピュータネットワーク 第8章コンピュータ制御 第9章情報技術の活用	データ通信とネットワークマルチメディアの活用に関して学習する。	観察記録 自己評価 レポート	○	○	○	○		
12				観察記録 自己評価 レポート	○	○	○	○		
1				観察記録 自己評価 レポート	○	○	○	○		
2				観察記録 自己評価 レポート	○	○	○	○		
3	後期末考査				○					